

## 令和6年度 第2回かながわコミュニティカレッジ運営委員会 会議録

○開催日時：令和6年11月26日（木）13時30分～15時30分

○開催場所：かながわコミュニティカレッジ講義室1（かながわ県民センター11階）

### ○出席者

伊藤 真木子（青山学院大学コミュニティ人間科学部 教授）

加藤 直樹（（一社）神奈川県専修学校各種学校協会 常任理事）

加茂 圭子（公募委員）

坂田 美保子（（特非）湘南 NPO サポートセンター理事長）

澤岡 詩野（東海大学健康学部健康マネジメント学科 准教授）

志田 淳一（（社福）神奈川県社会福祉協議会地域福祉部 地域課 課長）

為崎 緑（中小企業診断士）

鶴山 芳子（（公財）さわやか福祉財団 常務理事 共生社会推進リーダー）

### ○議題

1 令和6年度かながわコミュニティカレッジ運営業務の中間報告について

2 令和7年度かながわコミュニティカレッジ運営業務委託仕様書について【非公開】

3 令和7年度かながわコミュニティカレッジ運営業務委託団体募集案内・審査基準及び配点について【非公開】

### ○議事内容

#### 議題1「令和6年度かながわコミュニティカレッジ運営業務の中間報告について」

（受託事業者より資料1-1、1-2に基づき説明）

#### 為崎委員

ご報告ありがとうございました。修了率がとても高いと思いました。今まで数値が出ている講座のほとんどが80パーセント以上で、90パーセントを超えているものもあるのですが、それはおそらく受託者さんと講座を主催している団体さんの質が高いのであろうと理解いたしました。

一方、資料1-1の中で、申込率が若干低いものが2つ、目にとまりました。それがたまたま「子どもが自分の命を守るための防災知識を伝える」という同じ内容の講座を2つの会場に分けて実施した講座ですが、両方とも申込率が低くなった理由など思い当たることはありますかでしょうか。

## 受託事業者

こちらは、まず横浜会場と平塚会場の2つの会場で開催しており、少し分散しているかなという点がまずございます。

それに加えて、防災系の講座は各地域で無料講座を開講しているケースが多く、費用負担の観点から私どもの方で講座を実施する際には、できれば5,000円程度をめどに人を集めている背景がございます。その中で7,200円という金額は防災系の講座においては少し金額が高いかなというように思っております。

ただ、この講座自体は「逃げ地図」といって大きな地図を購入して、そこに色を塗って道を描くなど、かなり費用もかかる講座で、とても大事な講座です。講座自体は防災教育ファシリテーターとして今活躍している方、コミュニティカレッジの講座を実際に受けて現場で活躍している方がこの講座にもファシリテーターとして実際に入っているということで、非常につながりもあり、今後も活躍される方を養成しているというところでは素晴らしい講座ではあるのですが、費用面についてネックになっています。

また、当該講座は、7月、8月の土曜日に開催しているため、本来は学校の先生などにこの情報が伝わって参加していただければよいのですが、実際はおひとりかおふたりしかいらっしやらず、なかなかそのルートを開拓するのは難しいです。そういった点が、申込率が低くなっている要因ではないかと思っております。

## 為崎委員

この講座は、子どもも参加できるのですか。親子で参加する人もいますか。

## 受託事業者

基本的には大人の方が参加なのですが、今回横浜会場では、お母さんと小学5年生の親子で参加された方がいらっしゃいました。その小学生は非常に防災に興味を持っており、いろいろ学ばれている方でした。

大人と同じ金額を払ってご受講いただき、大人のグループに入って一緒にワークができるような意識の高い小学生でしたので、今後の非常に楽しみです。ですので、特に子どもが参加してはいけないということではないのですが、親が子どもの分まで受講料を払うという理解があれば、子どもの受講も広がっていくように思います。

## 為崎委員

ありがとうございました。こういった講座を通して、次世代の育成につながっていくといいなと思いました。

## 鶴山委員

いろいろ工夫して進めていらっしゃるなと思って伺いました。ありがとうございました。

為崎委員と似たような質問になるのですが、資料1-1の12番「子どもがいる家庭への訪問支援講座おうちサポーター」という講座について、事前に資料を拝見した際にとってもよい講座だと思ったのですが、その割に50パーセントくらいの申込み率というところがすごくもったいないと感じました。これこそ地域に根付いて人材育成ということで行っている内容ではないかなと思ったのですが、何か申込み率が低くなっている理由が分かれば教えてください。

### 受託事業者

おっしゃる通りでございます、もう少し申込み人数が増えるかと思ったのですが、なかなか数字が伸びませんでした。

まず、1つの要因としては「子どもがいる家庭への訪問支援講座おうちサポーター」を開催した9月、10月の同時期に、「発達障がい児地域支援コーディネーター」それから「リスナルケアラー養成講座」でお母さんたちの悩みを聞くという講座や、連携講座で「子どもシエルのボランティア養成講座」を開催しており、「子ども・若者」の分野の講座が集中していました。そういった部分で、この講座については希望者が少なくなってしまったと考えられます。

また、それらの他講座との比較ではないのですが、「おうちサポーター」というタイトルそのものが、「他人の家に入るのだ」ということが想像できるため、なかなか他人の家に入ってサポーターをする、サポートをするというところは、ある意味ハードルが高くなってしまったのではないかという点もあります。

ただ、アンケートの結果でいうと各回も最終回も満足度の点数がとて高く、講座を受講された方が非常に満足されていた講座でしたので、「おうちサポーター」というところの位置づけや、ネーミングも含めて広報の方法を工夫するなど、もう少し必要性や分かりやすさがあれば人数も違っていたのではないかと思います。

### 伊藤座長

他、いかがでしょうか。

### 為崎委員

参考資料1の修了生アンケートを見ていると、まち歩きガイドボランティア養成講座がアンケートの回答率も高く、「今、活動していますか」という設問で、「シティガイド協会に入った」「街づくり活動を始めた」という回答が多く、とてもよい循環になっていると感じました。アンケートの回答数が多いということは、比例して満足度も高いことになるかと思えますけれども、その高い満足度に結び付いている理由について何かありましたら教えてください。

## 受託事業者

まず、「まち歩きガイド」という明確な先が見える講座であり、受講生が「自分はまち歩きが好きだから」とか、「ガイド系をやりたい」というはっきりとした目的をもって応募してくることが多いことから、他の講座のように、講座を受けその中で次につながる活動を見つけていくというところとでは、受講の動機が違うのかなと思っております。

また、こちらの講座は全9回の講座のうち7回ほどは午前中に講義、午後にまち歩きを実施し、まち歩きの際はガイドをされている方に付いて、それぞれの地域の歴史や由来を学ぶということを行いました。午前と午後が逆になるということもありましたけれど、もともと興味がある内容を更に深く学べるということと、実際ガイドとして活躍されている方のお話されている姿勢や知識などに感銘を受けた方や、講座が終了した後の実施団体のフォローにより、「ぜひ自分も実際にガイドとして活動してみたい」という気持ちがさらに明確になったのだと思います。

ただ、こちらの「まち歩きガイドボランティア養成講座」の実施団体には、全部で5団体が所属していたので、「5団体のどこかに所属して活動してみませんか」というフォローアップがありましたが、圧倒的に横浜シティガイドさんを選ばれる方が多かったです。それはおそらく横浜近辺の地域柄や横浜シティガイドさんは老舗ですので、組織立っている部分に関係しているのではないかと感じます。

また、横浜シティガイドさんだけではないのですが、現在まち歩きボランティアをされているガイドさんは、コミュニティカレッジを受講された方が圧倒的に多いです。ここから育っていかれている、巣立っていかれているので、おのずとこのような結果になるのではないかと思います。

## 加藤委員

感想ですけれども、本当に全般的によくできていると感じました。

## 坂田委員

期待を込めてということで、今後のことなのですけど、「シニアライフアドバイザー養成講座」が令和6年度初めてということで講座を実施されているのですが、この講座を卒業された方々が実際どのようにアクションといたしますか、行動を起こしていくのかという狙いなどありましたら、教えていただきたいと思えます。

## 受託事業者

シニアライフアドバイザーの実施団体が「一般社団法人神奈川健康生きがづくりアドバイザー協議会」というところなのですが、基本的には希望があればこちらの団体で活躍することもできますし、シニアスポーツ体験実習としてポールウォーキングや未病などいろいろなカリキュラムがあるので、そういったところに次にステップアップで進める形で、そ

こから地域で活動するという道筋があると思います。

こちらのシニアライフアドバイザー養成講座は、受けたからといって「私はシニアライフアドバイザーです」と名乗れるような形になっていないため、次のステップアップを含めたカリキュラムの構成などが今後は必要になるのではないかと思います。

ただ、非常に皆さん楽しそうにやっていたし、講義もかなり充実していて、第1回目には東大の教授の方お二人に話していただきました。実際に現地見学に行ったり、ポールウォーキングは沢渡公園に行く予定だったのですが、残念ながらその日は雨だったので、講義室で全員分のポールを用意していただき、何に気を付けて、どういう形でやるかということ事務局のスタッフも一緒に体験しました。中身の部分も含めて評価が非常に高いので、この次にどう生かすかというところを、あと2回講座を実施する中で、実施団体の方と話をし、また今後のことを考えていければよいなと思っております。今のところ、協議会で何かフォローアップをしたいと考えていただいているので、そちらにみなさん参加いただければよいなと思っております。

#### **伊藤座長**

大変丁寧な説明ありがとうございました。

以上